

松波小学校だより

第4号
令和4年9月2日
能登町立松波小学校

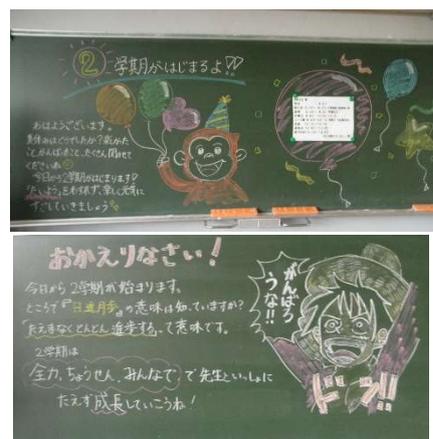
2学期の始まり

夏休みが終わり、学校に子どもたちの笑顔が戻ってきました。お決まりの玄関ホールでの体温チェックでは、今朝も元気な声であいさつが飛び交いました。

子どもたちは大きな鞆を抱え、夏休みの宿題を持ってきていました。「重かった。」と、一息つく子、誇らしそうな表情で夏休みの工作を見せてくれて、解説もしてくれる子、大事そうに抱え教室へ向かう子、わざわざ電池の灯りをともして見せてくれる子もいました。今年の夏休みの作品は、工夫されたもの、時間がかかっているもの、丁寧に作ってあるものが多く、レベルが高いと思いました。その陰には、お父さん、お母さんをはじめ、家族の方々がアドバイスしたりして何らかの形でかかわってくださったと思います。ありがとうございました。

学校では、コロナウイルス感染症の感染状況も鑑みリモートで2学期の始業式を行いました。

各担任は、児童を迎える準備として、担任の思いを黒板に書いておきました。87名の子ども一人一人が充実した2学期を送ってほしいと思っています。そのためにはよいスタートを切ることが大切です。夏休みで崩れている生活リズムを元に戻し、規則正しい生活が送れるよう保護者の皆さんもお子さんに声をかけてあげてください。



8月下旬から学校のトイレは改修工事に入っています。本校のトイレは老朽化が目立つ上に洋式の数も少なく、特に低学年の児童にとっては使いづらかったのですが、ついに改修されることになりもう取り壊しの工事が始まっています。しばらくは、東側（体育館より）のトイレは使えません。また、工事のための騒音がします。東側が終わると、次は西側トイレも改修となります。しばらく大人も子どもも辛抱することになりますが、数ヶ月先には新しく快適で清潔なトイレが使えるとのことなので、ご理解くださるようお願いいたします。



令和4年 9月 校長 前田 稔子